

統合国際深海掘削計画 (IODP) 会議報告書

提出年月日： 平成 20 年 0 1 月 2 3 日

氏名：EDP member (宮入、中田、福原、浅沼、田村、渡辺[代理])

会議名	第 6 回 EDP Meeting
期間 (移動を含む)	平成 20 年 0 1 月 0 9 日 ~ 1 1 日
用務地 (国・都市)	フランス・ニース
目的	主要議題 1 . FY07 成果・FY08 の現状・FY09 計画の把握と問題点などの検討 2 . Technology Development Proposal Review process および Technology Road Map 2.0 の見直し
<u>会議内容及び報告事項</u> <p>第 6 回 EDP 会議はニースの山の上にある天文台の会議室で開催された。</p> <p>今回の会議の主要な目的は、前会計年度 (FY07) の技術開発プロジェクトの成果の評価と現在進行中 (FY08) のプロジェクトの現状と問題点の把握、そして次年度 (FY09) 計画へのコメントであるが、その他に Engineering Development Proposal review process の見直しや、東京での #5EDP 会議を経て改定された Technology Roadmap 2.0 の見直しについての議論がおこなわれた。</p> <p><u>EDP Comments on LTBMS</u> EDP は Operational Requirement Document の Initial planning の質の高さを確認した。もし可能であれば、これらに続く問題として、CDEX に次回 7 月の EDP 会議において、以下の件につき説明をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Project Organization・ Project risk management and associated contingency plans and project assurance plan.・ それらは、機器の設計および設置についてのピアレビューと外部検証に基づくこと。・ 設計段階でどのようにリスクが最小化されているのかを知りたい。・ ライザーとノンライザーの間にあるデザインアプローチの違いについて論理的な説明がほしい。 <p>EDP はランドテストからいきなり本番という計画にかかわるリスクを憂慮している。オフショアテストを間に挟むことにより、装置そのものや設置に伴うリスクを減らせる可能性もある。。</p> <p><u>FY09 Engineering Plan</u> EDP は、SCIMPI と S-CORK については、High Level design (共通要素を一本化) を行うなどを骨子とした IODP-MI の提案する FY2009 Engineering Plan をサポートする (票決：支持 11、棄権 2、COI : 3)。</p> <p><u>Technology Development Proposal</u> ・ EDP 委員が MI に提出した個々のプロポーザルの評価に加えて、今後の評価の参考にできるように、EDP 非公開セッションの議事を記録し、EDP 専用の非公開議事録として MI が保管するという事となった。 ・ 似たような技術の提案について相互比較をすべきか否かの議論の結果、現状通り相互比較はしないこととなった。ただし、個別の評価の中に、相対的なメリットの判断の助けになるようなコメントを入れる可能性はある。 ・ 次回 ED プロポーザルの締め切りは 2008/04/15、Engineering Task Force にて審査し、5 月には EDP メンバーの Watchdog を決め、7 月の EDP 会議では、Watchdog が提案内容を報告(前回は IODP-MI)し、評価作業を実施する。</p> <p><u>Technology Roadmap</u> ・ 今までグループ内だけで行われていた Technology Roadmap 2.0 のレビューを全員で行った。その結果、「Borehole Stability」を項目 B-33 に、「Stress Measurements」を項目 C-22 に入れることとなった。また、B-28:High Temperature High pressure Vertical Drilling System(VDS)のタイトルおよび内容を見直すこと</p>	

となった。

- ・ISPに提出されている Drilling Proposal にある技術的ニーズの Technology Roadmap へのマッピング作業を行った。
- ・今回の見直しを含めて、Technology Roadmap の改定版(3.0)のドラフトを作成し、次回(#7)の会議を経て7月に公開する。Technology Roadmap は Live document なので、毎年 July 会議で公式アップデートを行う。

EDP Large Diameter Pipe

EDP は検層やサンプリングの可能性を広げるため大口径パイプの導入を強く推奨する。

Openhole VSP

STP より Openhole VSP の問題についてアドバイスを求められた。EDP の結論としては、業界の標準的手法に沿ってチェックショットサーベイを行えば、質の良い速度プロファイルが得られるはずであり、現時点で技術開発の必要性はない。

Drilling to the Mohole

SPC からの要望(将来のモホール掘削計画に伴う技術的ニーズの検討)を認識し、検討を開始する。

Initial Science Plan

SASEC は ISP の見直しを検討しているとの報告があった。これにより、Roadmap に影響が出る可能性もある。

その他

- ・ 前回の EDP Meeting #5 Minutes が承認された。
- ・ 今回の EDP メンバーの出席者は代理も含め、日本：6名、米国：6名、欧州：4名、中国：1名。
- ・ Core Quality Study についてのコメントがあった。
- ・ 3月バルセロナでの SPC には USSLER を、5月釜山での SSEP には浅沼を EDP 代表として送る。
- ・ 次期 Chair および Vice Chair として、宮入および Ussler がノミネートされた。
- ・ Flemings、Sears、Alberty、中田、武村の5人が今回で任期満了となり、ローテートオフした。
- ・ 次回#7のミーティングは米国のソルトレーク又はデンバーで2008年7月14-16日の予定。
- ・ 次々回#8は中国の杭州又は上海で2009年1月14-16日として提案された。

備考	
----	--

事務局又はJ-DESCへのご要望・コメント等